

# 虚弱高齢者における身体運動機能評価を目的とした 5回椅子立ち座りテストの改良とその信頼性の検証

牧迫飛雄馬<sup>1)</sup>, 太田暁美<sup>2)</sup>, 瀬高英之<sup>3)</sup>, 原田正彦<sup>1)</sup>, 中村好男<sup>4)</sup>, 村岡功<sup>4)</sup>

1) 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

2) 大阪電気通信大学医療福祉工学部

3) 吉川病院リハビリテーション科

4) 早稲田大学スポーツ科学学術院

キーワード: 立ち上がり、高齢者、運動機能、評価

## 抄 録

下肢筋力評価として、立ち上がり動作による評価の有用性が報告されているが、虚弱・要介護高齢者を広く対象とする場合には評価方法を修正する必要がある。本研究では、立ち座り動作による評価方法を5回椅子立ち座りテスト(SS-5)に修正し、虚弱・要介護高齢者を対象にSS-5の信頼性および運動機能、生活機能との関連性の検証を目的とした。通所介護施設を利用していた要介護認定者47名(男性9名、女性38名、平均年齢82.7歳)を対象に運動機能および老研式活動能力指標を測定した。その結果、SS-5の高い再検査信頼性(ICC=0.92)が得られ、SS-5と5m歩行時間、TUGで有意な中等度の正の相関を認めた。また、SS-5と膝伸展筋力、老研式活動能力指標で有意な中等度の負の相関を認めた。老研式活動能力指標を従属変数とした重回帰分析(ステップワイズ法)の結果、SS-5のみ独立変数として抽出された。以上の結果より、虚弱高齢者や要介護高齢者において、SS-5は再検査信頼性があり、下肢筋力やADL能力と関連する有用な指標であると考えられた。

スポーツ科学研究, 5, 71-78, 2008年, 受付日:2007年11月30日, 受理日:2008年4月18日  
連絡先: 牧迫飛雄馬 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科 359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島 2-579-15  
TEL/FAX:04-2947-6829 (Hyuma Makizako) E-mail: [hyuma-jpt@ruri.waseda.jp](mailto:hyuma-jpt@ruri.waseda.jp)